

勇往邁進

三次市立八次中学校第1学年 学年通信 No. 6 令和6年9月13日

最近の学校 - - -

新学期が始まり2週間が終了しました。「9月」の声を聞くと幾分か涼しさを感じるようになりました。朝晩も涼しくなり秋に少しずつ近づいてきたなと感じている人もいるのでしょうか。とは言え日中はまだまだ暑く、気温が30度越えの日が毎日続いています。この寒暖の気温差が多いと体調を崩しがちです。体調管理にはしっかりと気をつけていきましょう。

さて新学期がスタートしてからの最近の学校の様子を紹介しておきます。1学期の反省に立ち、授業態度がよくなった人、提出物を頑張っておそうとしている人などが増えてきて良い感じになってきています。全体的にみると以下のような感じです。



(良い点)

- 授業開始3分前着席を意識している人が増えてきた。
- 給食の準備が早くなってきている。

2学期から合掌を5分早めて12:45からに設定しています。そこがしっかりと意識され準備も早くなってきています。

- お互いが声掛けできるようになってきた。

(課題)

- 授業が始まって授業に必要な物をロッカーに取りに行く人がいる。(固定化)
(休憩中に準備しておくよう指導しています。)

- 集中して話が聞けない時がある。

うるさくしているわけではありませんが、同じことを繰り返し質問したりして授業がストップしてしまいます。

(しっかりと落ち着いて聞く指導をしています。)

全体的には大きな問題もなく落ち着いて生活を送っていますが集団生活の原点である「嫌な思いをする人がいない」ということを念頭に置き、さらに集団として高まっていきましょう。

道徳の授業から・・・

中学校では週1回道徳の授業があります。教科の学習と違い「生き方」について考え学び、そして自分とのかかわりを通して学習を深めています。先日学習した内容について少し紹介してみます。

題材「花火に込めた平和への願い」

この題材は、長岡市に住む中学生のゆかりが姉妹都市のホノルルに行った時の話で、温かく迎えられたホノルルで、両国の未来に思いを寄せた。帰国後ホノルルで上がる長岡の花火を見て、平和への貢献を意識する。といった内容です。



太平洋戦争で攻撃された戦艦アリゾナの上に建てられた記念館。それが戦争の悲惨さと平和の尊さを象徴している点やホノルルで長岡の花火が打ち上げられたことについての意義を考えながら学習を進めていきました。

生徒は以下のような振り返りを書いていました。

- 戦争で相手を攻撃したりされたりした側の人達は自分の感情を混ぜて伝えるのではなくありのままの正しい事を今後生きる人達に伝えるということが大切だと思う。
- 自分たちも広島の人として苦しい思いをした人たちのためにも、もうこれから戦争や争いがなくなるよう外国の人たちとの交流を大切にしていきたい。
- 過去のことを正しく知り未来につなげていくことが大切だと思った。人を傷つけたりしないなどの小さいことも平和につながると思うので、そこからやっていきたいと思った。

しっかりと学習した様子が伺えています。この学習を機に平和について日頃から考えることができればいいですね。